

平成19年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成19年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年7月17日(木)に新発田ニューホテルプラザにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者42名、委託関係者24名ほか、計83名の参集を得て、除草剤26薬剤(108点)、生

育調節剤12薬剤(41点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成19年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ぬらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AK-01液 グリホサートイソPロピルアミン 塩 41% [TAC普及会]	タマネギ	薬害 継続	島根農技 佐賀白石 (2)	[薬害試験] ・定植7日、3日前 ・全面茎葉処理 ・500mL<25> ・展着剤不要	実・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 250~500mL<25~50L>/10a (専用ノズルを使用する) 継) ・耕起直前処理での薬害の確認 ・定植前処理での薬害について
2. AKD-7164水和 シナジン 50% [アグロネショウ]	ネギ	適用性 継続	植調研究所 奈良農総 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草(ワカサを除く)] ・定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・75, 100, 150g<100>	継	継) ・効果、薬害の確認
3. ANK-553(改)乳 ベンディメタリン 30% [BASFアグリ]	タマネギ	適用性 新規	植調青森 植調研究所 佐賀白石 (3)	[一年生雑草(ワカサを除く)] ・定植前(マダ前) 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300mL<70, 150> ・500mL<70>	継	継) ・効果、薬害の確認
	ラッキョウ	適用性 継続	植調研究所 (1)	[一年生雑草(ワカサを除く)] ・植付後~萌芽前 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300mL<70, 150> ・500mL<70>	継	継) ・効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. BAS-656乳 ジメチアト-P 64% [BASFファロ]	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 福岡農総試 佐賀白石 (3)	[一年生雑草 (タデ科, アザミ科, アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面茎葉処理 ・ 75, 100, 120mL<100>	継 継)	・ 効果、葉害の確認
5. BCY-069くん蒸 メチルイソシアネート 30% [ハ イエル クロップ サイエンス]	ホレンソウ	適用性 新規	植調研究所 千葉大環境健康ファ ル 広島農技 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ①被覆資材除去1日後に播種 ②被覆資材除去7日後に播種 ・ 26.6, 40.0kg ・ 土壌くん蒸処理 処理方法) 被覆材下にスプレーを挿入 (空間確保) → 処理区短辺一方からノズルを挿入し薬剤を噴出	継 継)	・ 効果、葉害の確認
6. NC-3607アブ キサロップエチル 7% [日産化学工業]	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 島根農技 佐賀白石 (3)	[一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・ タマネギ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200, 300mL<100> ・ 展着剤不要 比) ナノ乳	実 実)	[秋冬作露地; 一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・ タマネギ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3~8葉期) 全面茎葉処理 200~300mL<100L>/10a
	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 島根農技 佐賀白石 (3)	[一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・ タマネギ生育期 雑草生育期 (イネ科雑草6~8葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200, 300mL<100> ・ 展着剤不要		
7. NH-0077アブ ビラフルフェンエチル 0.16%, グリホサートイソプロピルアミン 塩 30% [日本農業]	タマネギ	適用性 継続	植調青森 和歌山農試 広島農試 香川農試 佐賀白石 (5)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 400, 500, 600mL<100> ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし 500mL<100>	実 ・ 継	[秋冬作; 一年生雑草] ・ 耕起7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 全面茎葉処理 400~600mL<100L>/10a 継) ・ 耕起直前処理での葉害の確認 ・ 定植前処理での効果、葉害の確認
	タマネギ	薬害 継続	和歌山農試 佐賀白石 (2)	[薬害試験] ・ 定植前日、3日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 600, 1200mL<100> (前日は600mLのみ) ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. SYJ-100乳 アロキカル 78.4% [シシヅエンタ ジャパン]	タマシ	薬害 新規	島根農技 佐賀白石 (2)	[薬害試験] ・ タマシ 定植後 (雑草発生前) → タマシ 生育期 (1回目処理30日 後) ・ 全面土壌処理 ・ 500, 1000mL<100> ・ 展着剤不要 ・ タマシ 定植後 (雑草発生前) → タマシ 生育期 (春期処理) ・ 全面土壌処理 ・ 500, 1000mL<100> ・ 展着剤不要	実	実) 前年どおり [秋冬作露地; 一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 全面土壌処理 400~500mL<100L>/10a ・ 生育期 雑草発生前~始期 全面土壌処理 400~500mL<100L>/10a 注) 生育期の処理では定植後土壌 処理剤との体系で使用する
9. TMZ-9911液 ヨウ化メチル 99% [アリス ライフサイエンス]	タマシ (育苗 床)	適用性 継続	和歌山農試 広島農試 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 10, 15, 20kg 対) ハスアミド 微粒 20kg 処理方法) 被覆資材下に設置 → くん蒸処理 (密閉し3日間放置) → 被覆除去 → 7日後を目安に耕起 (3日間放置) → 播種	継	継) ・ 効果、薬害の確認
10. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シシヅエンタ ジャパン]	レタス	適用性 継続	植調研究所 佐賀白石 鹿児島大隅 長崎総農試 (H18) (4)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 250mL<50>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	レタス	薬害 継続	福岡農総試 佐賀白石 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前, 3日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		継) ・ 水量100L/10aでの年次変動の確認
	ホレンソウ	適用性 継続	植調研究所 奈良農総試 南九州大学 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起前または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイロード 250mL<50>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)
	ホレンソウ	薬害 継続	奈良農総試 南九州大学 (2)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		継) ・ 水量100L/10aでの年次変動の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草, ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ZK-122液	ネギ	適用性 継続	鹿児島大隅 植調研究所 (H18) (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 250mL<50>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 耕起14日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<25~50L>/10a (専用ノズル使用) 継) ・ 定植前処理での薬害の発生要因 について ・ 耕起直前処理での薬害の確認 ・ 水量100L/10aでの効果, 薬害の確認
	ネギ	薬害 継続	<三重植防> 奈良農総セ (2)	[薬害試験] ・ 定植直前, 3日前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		
	ネギ	適用性 継続	千葉大環境健康 奈良農総セ 鹿児島大隅 植調研究所 (H18) (4)	[一年生雑草] ・ ネギ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 250mL<50>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 注) ・ 雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・ 作物に飛散ないように散布する。 継) ・ 水量100L/10aでの年次変動の確認
11. リニロン水和 リニロン 50% [デコボシ]	ニンニク	適用性 継続	青森農総セ 青森畑園試 千葉大環境健康 香川農試 (4)	[一年生雑草] ・ 植付前マハ前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 100, 150g<100> 対) コーゴースン乳	実	実) [露地マハ; 一年生雑草] ・ 植付前マハ前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 100~150g<100L>/10a
	ニンニク	薬害 自主	青森農総セ 青森畑園試 (2)	[薬害試験] ・ 植付前マハ前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 150, 300g<100> 対) コーゴースン乳 400mL<100>		

B. 平成19年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
1. AH-01液 グリホシネートPナトリウム塩 11.5% [明治製菓、北興化学 工業]	ブロッコリー	適用性 継続 (H19春 夏作)	京都丹後	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ブリガロックL液 600mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
	ハクサイ	適用性 継続 (H19春 夏作)	三重科学技術 和歌山暖地園芸	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
		適用性 継続 (H19春 夏作)	三重科学技術 和歌山暖地園芸	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
	レタス	適用性 継続 (H19春 夏作)	愛知農総試	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハビール液 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
		適用性 継続 (H19春 夏作)	愛知農総試 南九州大学	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
	アスパラ ガス	適用性 継続 (H19春 夏作)	香川農試三木	[一年生雑草] ・ 萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バスタ液 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり

B. 平成19年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アングラーラインは新たに判定した部分
AH-01液	ヤマ/イモ	適用性 継続 (H19春 夏作)	青森畑園試 三重科学技術セ	[一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液剤 300mL<100>	実	実) [一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 300~500mL<100~150L>/10a ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散ないように散布する。
		適用性 継続 (H19春 夏作)	青森畑園試 三重科学技術セ	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> ・ 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ハビ-液剤 300mL<100>		
2. ALZ-0642液 ヨウ化ナトリウム 19.5% クロルピクリン 79.5% [アリス ライフサイエンス]	ホレンソウ	適用性 新規 (H19春 夏作)	植調研究所 長野野菜花き試	[一年生雑草] ・ 播種前 雑草発生前 ・ 10L (1.0mL/穴) 15L (1.5mL/穴) 20L (2.0mL/穴) ・ 土壌くん蒸処理(点注処理) 対)クロルピクリン液30L (3.0mL/穴) 処理方法) 7日間くん蒸後、被覆を除去し、 7日後を目安に耕起、さらにその後3日以上放置し定植する。	継 (秋 冬 作 と し て)	継) 効果、薬害の確認
3. ANK-553細粒 ベンディメタリン 2% [BASFアグロ]	ハウライ	適用性 継続 (H19春 夏作)	三重科学技術セ	[一年生雑草(ナメ科、ツクサを除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 4, 5, 6kg ・ 全面土壌処理 対)ゴ-ゴ-サン乳 300mL<100>	一	・ 前回の判定どおり
4. BAS-656乳 ジメチナミド-P 64% [BASFアグロ]	ア-ロコ -	適用性 継続 (H19春 夏作)	京都丹後	[一年生雑草(ナメ科、アガ科、アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 30, 40, 50mL<100> ・ 全面土壌処理 対)アグロマックス水和 200~300g<100>		・ 前回の判定どおり
5. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ハウライ	薬害 継続 (H19春 夏作)	三重科学技術セ	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	一	・ 前回の判定どおり
	レタス	薬害 継続 (H19春 夏作)	和歌山農大	[薬害試験] ・ ①定植3日前 ②定植5日前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要	一	・ 前回の判定どおり

B. 平成19年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 続 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 アングラーインは新たに判定した部分
NC-622液	ホレンソウ	薬害 継続 (H19春 夏作)	長野南信試	[薬害試験] ・播種直前 ・500, 1000mL<25> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要	一	・前回の判定どおり
6. NH-0077ロアフル ヒラフアフェンチル 0.16%、 クアリサートイソプロピルアミン 塩 30% [日本農業]	ネギ	適用性 継続 (H19春 夏作)	栃木農試黒磯	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・400, 500, 600mL<100> ・全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 500mL<100>	一	・前回の判定どおり
7. NP-55乳 セキシジム 20% [日本曹達]	カリフラワー	適用性 継続 (H19春 夏作)	和歌山農試 福岡農総試 (H18)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを 除く)] ・生育期 イネ科雑草生育期(3~5葉期) ・150mL<100, 150> 200mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要	一	・前回の判定どおり
	カリフラワー	薬害 継続 (H19春 夏作)	和歌山農試	[倍量薬害試験] ・生育期 ・400mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要		
8. SYJ-171液 ハラコート 12.4% [シンジェンタ ジャパン]	レタス	適用性 継続 (H19春 夏作)	宮城園研 愛知農総試	[一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要 対) プリグロックスL液 600mL<100>	一	・前回の判定どおり
	レタス	薬害 継続 (H19春 夏作)	和歌山農大	[薬害試験] ・定植直前 ・1000, 2000mL<100> ・全面茎葉処理 ・展着剤不要		
	レタス	適用性 継続 (H19春 夏作)	<宮城園研>	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・畦間茎葉処理 ・展着剤不要 対) プリグロックスL液剤600mL<100>	一	<試験中>

B. 平成19年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは新たに判定した部分
SYJ-171液	ホレンソウ	適用性 継続 (H19春 夏作)	長野野菜花き試	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>、 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックSL液剤600mL<100>	—	・ 前回の判定どおり
	ネギ	適用性 継続 (H19春 夏作)	栃木農試黒磯	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150>、 1000mL<100> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックSL液 600mL<100>	—	・ 前回の判定どおり
9. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シジエンタ ジャパン]	キャベツ	適用性 新規 (H19春 夏作)	和歌山農大 南九州大学	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 液250mL<50>	—	・ 前回の判定どおり
	ホレンソウ	適用性 継続 (H19春 夏作)	岩手農研南部 (1回目、再試)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 液250mL<50>	実 ・ 継	実) [春夏作;一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) 継) 年次変動の確認
	ヤマノイモ	適用性 継続 (H19春 夏作)	青森畑園試 三重科学技術セ	[一年生雑草] ・ 耕起または植付前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50, 100> ・ 500mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 液250mL<50>	—	・ 前回の判定どおり
ヤマノイモ	薬害 継続 (H19春 夏作)	青森畑園試	[薬害試験] ・ 植付直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 全面茎葉処理 ・ 展着剤不要			

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ANK-553 (改) 乳 ベンゼイメタリン 30% [BASFアグロ]	チューリップ	適用性 継続	富山野菜花き試 山口花き振興 (2)	[一年生雑草 (ササキ、ヨモギを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 300mL<70, 150> ・ 500mL<70>	実	[秋冬作; 一年生雑草 (ササキ、ヨモギを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 300～500mL<70～150L>/10a
2. FUIN-2 (旧BJL-861) 粉粒 タリメト 98% [アグロネショウ]	チューリップ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[多年生広葉、ササキ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15～25cmの土 壌と十分混和→ビニール等で被覆 (7～14日間)→被覆除去→2 回以上耕起 (カス抜き) →播種 または定植	継	継) 効果、葉害の確認
3. TMZ-9911液 30化メタリン 99% [アリスト ライフサイエンス]	サトウ	適用性 新規	沖縄農研 (1)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 10, 15, 20kg 対) クロビキリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処 理 (密閉し3日間放置)→被覆除去 →7日後を目安に耕起 (3日間放 置)→定植	継	継) 効果、葉害の確認

D. 平成19年度春夏作分 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. FUIN-2 (旧BJL-861) 粉粒 タリメト 98% [アグロネショウ]	サトウ	適用性 継続 (H19春 夏作)	広島農技 鹿児島農総研	[多年生広葉、ササキ] ・ 播種または定植前 ・ 30, 60kg ・ 土壌混和処理 処理方法) 本剤散布→深さ15～25cmの土 壌と十分混和→ビニール等で被覆 (7 ～14日間)→被覆除去→2回以上 耕起 (カス抜き) →播種または定 植	一	・ 前回の判定どおり
2. Hoe-866液 グリホサート 18.5% [ハインデル クロップ サイエ ンス]	カーネーション	適用性 新規 (H19春 夏作)	茨城園研 鹿児島農総研	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要	一	・ 前回の判定どおり

D. 平成19年度春夏作分 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
Hoe-866液	ストク	適用性 継続 (H19春 夏作)	広島農技	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	ストク	葉害 継続 (H19春 夏作)	広島農技	[倍量葉害試験] ・ 生育期 ・ 500, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	刈	適用性 継続 (H19春 夏作)	広島農技	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	刈	適用性 継続 (H19春 夏作)	広島農技	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150> 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 ・ 展着剤不要		
3. TMZ-9911液 30化メチル 99% [アリス ライサイエンス]	カーネーション	適用性 継続 (H19春 夏作)	<茨城園研> 広島農技	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 10, 15, 20kg ・ 土壌くん蒸処理 対) 刈り液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去→ 7日後を目安に耕起→3日間放置 →定植	—	・ 前回の判定どおり

E. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8151(L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アグロネショウ]	パイン	適用性 継続	千葉暖地園研 静岡農試 (2)	[果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生前～横ネット発生前 の間で3時期程度 ・ 1000～2000倍 <100-200mL/株> (1回処理) ・ 株散布	実	実) 従来どおり [果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生前～横ネット発生前 ・ 1000～2000倍<100-200mL/株> ・ 2回以内 ・ 株散布

F. 平成19年度春夏作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. T-2000S粒 FPT-9601 10 ⁷ cfu/g [多木化学]	キャベツ	適用性 継続 (H19春 夏作)	南九州大学	[育苗期の伸長抑制] ・播種時 ・600mL/128穴トレイ ・覆土として使用	一	・前回の判定どおり
	レタス	適用性 継続 (H19春 夏作)	和歌山農大	[育苗期の伸長抑制] ・播種時 ・600mL/200穴トレイ ・覆土として使用	一	・前回の判定どおり

G. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. DAZ-85顆粒水和 ダミジット 85% [ファインアルケミカルズ]	サトイモ (切り 花)	適用性 新規	愛知東三河 広島農技 鹿児島農総研 沖縄農研 (4)	[茎葉の伸長抑制による徒長防 止] ・①生育期1回 ②生育期4回 ③生育期1回→花首2回 ④生育期4回→花首2回 ・1000, 1500倍希釈 ・茎葉処理;十分量 ・(①生育期1回) ②生育期4回 ③生育期4回→花首2回 ・500倍希釈 (倍量葉害) ・茎葉処理;十分量 ・①生育期1回 ②生育期4回 (③生育期1回→花首2回) (④生育期4回→花首2回) ・2000, 4000倍希釈 ・茎葉処理;十分量	継 継)	・効果、葉害の確認
2. DNK-01液 シナミッド 13% [電気化学工業]	ヒメジョオン	適用性 新規	山形農研農生技 (H18自主, H19) 山形庄内産地研 長野野菜花き (4)	[休眠打破による発芽促進] ・休眠覚醒期 (促成開始直前) ・15倍 1回および2回 ・着花枝散布	実 実)	[休眠打破による発芽促進] ・休眠覚醒期 ・15倍 2回以内 ・着花枝散布 (十分量) 注) ・2回処理の場合は1回目の処理を 促成開始時に行い、2回目の処 理は1回目処理の1週間後を目 安に行う

G. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草, ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
DNK-01液	コキヤギ	適用性 新規	山形置賜産地 福島植防(2) 植調研究所 埼玉森林緑化研 福岡農総試 (6)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠覚醒期 (促成開始前) ・ 15, 30倍 ・ ①切枝全面散布 (十分量), ②株全面散布 (十分量) ③切枝全体を浸漬 (15分以内)	実 ・ 継	実) [休眠打破による発芽促進] ・ 休眠覚醒期 (促成開始時) ・ 30倍 ・ 切枝全面散布 (十分量), 切枝全体を浸漬 (15分以内), 継) ・ 掘りあげ後株全面散布での効果、 薬害の確認 ・ 15倍処理での薬害について (切枝 処理)
	レンギョウ	適用性 自主	埼玉森林緑化研 (1)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠覚醒期 (促成開始前) ・ 15, 20, 30倍 ・ 切枝全面散布 (十分量), 切枝全体を浸漬 (15分以内)	実 ・ 継	実) 従来どおり ・ [休眠打破による発芽促進] ・ 休眠覚醒期 (促成開始時) ・ 15~30倍 ・ 切枝全面散布 (十分量) または 切枝全体を浸漬 (15分以内)
3. JFR-010水溶 ジベレリン 5% [丸和ハイチカド]	サトイモ	適用性 継続	広島農技 福岡農総試 鹿児島農総試 (3)	[草丈伸長促進] ・ 初生育期 ・ 1000倍 (50ppm) 1回散布 1000倍 (50ppm) 2回散布 (散布間隔7-10日) 500倍 (100ppm) 1回散布 500倍 (100ppm) 2回散布 (散布間隔7-10日) ・ 茎葉処理 (十分量) 対) ジベレリン粉末または液剤 初生育期 50~100ppm 2回	実	実) [サトイモ; 草丈伸長促進] ・ 生育期 (栄養成長期) ・ 500~1000倍 2回以内 ・ 茎葉処理 (十分量)
4. ダミジッド水溶 ダミジッド 80% [日本曹達]	サトイモ (切り 花)	適用性 新規	広島農技 鹿児島農総試 沖縄農研 (3)	[茎葉の伸長抑制による徒長防 止] ・ ①生育期1回 ②生育期4回 ③生育期1回→花首2回 ④生育期4回→花首2回 ・ 1000, 1500倍希釈 ・ 茎葉処理; 十分量 ・ ①生育期4回 ②生育期4回→花首2回 ・ 500倍希釈 (倍量薬害) ・ 茎葉処理; 十分量 ・ ①生育期1回 ②生育期4回 ③生育期1回→花首2回 ④生育期4回→花首2回 ・ 2000, 4000倍希釈 ・ 茎葉処理; 十分量	継	継) 効果、薬害の確認

G. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
5. CX-10液 シアミド 10% [日本カーバイド]	サカ	適用性 新規	植調研究所 静岡伊豆 三重鈴鹿 (3)	[休眠打破による開花促進] ・ 休眠覚醒期(11~2月) ・ 10, 15, 20倍 1回散布 ・ 立木全面散布(十分量)	継	継) ・ 効果、葉害の確認
6. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [協和発酵工業]	サカ	適用性 自主	山形農研農生技 山形庄内産地研 山形置賜産地研 (3)	[休眠打破による開花促進] ・ 休眠期~休眠覚醒期 ・ 25, 50, 100ppm ・ ①切枝全面散布(十分量), ②切枝全体浸漬(20秒程度)	継	継) ・ 効果、葉害の確認

H. 平成19年度春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. JFR-010水溶 ジベレリン 5% [丸和アイ]	サ	適用性 新規 (H19春 夏作)	沖縄農研	[草丈伸長促進] ・ 生育期 ・ ①1000倍(GA50ppm) 1回 ②1000倍(GA50ppm) 2回 (散布間隔7~10日) ③500倍(GA100ppm) 1回 ④500倍(GA100ppm) 2回 (散布間隔7~10日) ・ 茎葉処理 対) ジベレリン粉末または液剤 生育期 50~100ppm(2回散布)	—	・ 前回の判定どおり
2. YS-071液 既知化合物 [ヤマ産業]	ベチュニア	作用性 新規 (H19春 夏作)	<山形置賜産地研>	[莖葉の伸長抑制による小型化] ・ ①定植直後(定植後3日程度) ・ ②生育期 ・ 1本/株(33mLアンプル) (1) 0.0010%, (2) 0.0016%, (3) 0.0025% ・ アンプルを土壤に挿入 対) スミセップ液 1mL<50~100mL> 土壤灌注	—	
3. ダミジッド水溶 ダミジッド 80% [日本曹達]	ジャクガ	適用性 継続 (H19春 夏作)	埼玉農総森林緑化 福岡果樹苗木 (2)	[矮化効果及び花芽着生数増加] ・ 新梢伸長完了期を1回目として 3回処理(1ヶ月間隔) 75倍→75倍→75倍 100倍→100倍→100倍 <100mL/5号鉢> ・ 茎葉処理	実・継	実) [莖葉伸長抑制効果および花芽 着生数増加] ・ 新梢伸長完了期 ・ 100倍 新梢伸長完了期を1回目として3 回処理(約1ヶ月間隔) ・ 茎葉処理(十分量) 継) ・ 75倍処理での効果の確認

H. 平成19年度春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. ダミジッド スプレー液 ダミジッド 0.4% [日本曹達]	アザレア	適用性 新規 (H19春 夏作)	新潟農総園研 福岡果樹苗木 (2)	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 摘芯後7～30日(1回) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 摘芯後7～30 日 150-200倍 茎葉処理	継	継) 効果、葉害の確認
	キ (大輪 ぎく)	適用性 新規 (H19春 夏作)	広島農技	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①摘芯10日後 または定植3日目(計1回) ②摘芯10日後または定植3日目 →1回目の30日後(計2回) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 摘芯10日後また は定植3日目及びその後30日間隔 1-2回200-400倍、茎葉処理	一	・ 前回の判定どおり
	キ (小中 輪ぎく)	適用性 新規 (H19春 夏作)	愛知東三河 広島農技	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ ①摘芯10日後 または定植3日目(計1回) ②摘芯10日後または定植3日目 →1回目の30日後(計2回) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 摘芯10日後また は定植3日目及びその後30日間隔 1-2回200-400倍、茎葉処理	一	・ 前回の判定どおり
	ハイトラン ジア (アジサイ イ)	適用性 新規 (H19春 夏作)	栃木農試	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 定植3日後(1回) →定植30日後(1回)(計2回) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 定植3日後および定植30日後 100-200倍 茎葉処理	一	・ 前回の判定どおり
	ハバタン	適用性 新規 (H19春 夏作)	奈良農技	[茎葉の伸長抑制による小型化] ・ 定植3日目(1回) ・ 茎葉処理;十分量 (希釈せずそのまま散布) 対) ビーサイン水溶 定植3日目 100-200倍 茎葉処理	一	・ 前回の判定どおり